

No. 1482

対話と協調

— ロンドン・サミット —

イギリスで開かれた第10回先進国首脳会議（ロンドン・サミット）。中曽根首相にとっては、今回のサミットは首相就任以来の一連の外交の総仕上げとなると同時に、秋の自民党総裁選を控えて「外交に強い中曽根」のイメージを売り込みたいところ。6月8日、各国首脳は、ランカスター・ハウスで円卓を囲み討議に入りました。全体会議では、日本とアメリカが提唱していた新ラウンド（多角的貿易交渉）の準備促進で原則的に一致。昨年ウィリアムズバーグ・サミットで打ち出した「力の均衡」による対ソ対決姿勢の基本路線は維持しながらも、核軍縮交渉の再開を呼びかけるなど、「対話」と「協調」をうたった「ロンドン経済宣言」を発表し、3日間の会議を終りました。

加賀百万石 散策

加賀百万石の歴史をもつ金沢。

犀川の清流に鮎が躍ります。城は明治の大火で焼け、かすかな面影を残しているだけ。けれども日本三大名園の一つ、兼六園は、加賀百万石の文化を伝えてくれます。回遊式の庭園は、日本の美そのものです。

火災の時の用水が流れる長町の武家屋敷跡、長い土塀には、当時の威厳が漂っています。この一角に、加賀友禅の絵付けが見学できる工房がありました。こまやかな技を生むには年期がいります。加賀友禅に息づく自然美。

漆芸・蒔絵の伝統も生きています。この道、既に六十数年の野村大仙さんは、名工の一人。加賀蒔絵に、江戸蒔絵の技が加わった独特の味わいは、百万石の城下町にふさわしい風格です。次第に変わりゆく金沢、その中で、まだ百万石の伝統が輝いていました。